

いつもお世話になりありがとうございます。アメリカの有名大学が行った実験では、小さなことでも何か人のためにしたとき「時間に対する心の余裕」が増大したそうです。早いもので今年も7月ですが、忙しくて時間がない日こそあえてだれかのために時間を使うと「心に余裕」が生まれ、さらにより良い仕事ができるかもしれませんね。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



知っどこ! 「税務のママ知識」

【孫などへの教育資金の贈与が非課税に】

孫などへ教育資金を非課税で贈与できる制度が開始しました。この制度は、平成25年4月1日から平成27年12月31日までの期間において、直系尊属である祖父母などが30歳未満の孫など（受贈者）に対して、教育資金を一括贈与した場合に贈与税が非課税になるというものです。非課税となるのは受贈者1人につき1500万円までで、学校などの教育機関に支払う教育資金、例えば幼稚園や大学、各種学校の入学金や授業料のほか、学校用品の購入費などが対象となります。また、学習塾や予備校の授業料、野球などスポーツの指導料、ピアノなど文化芸術に関する活動の指導料、また、それらに関する物品の購入費用などの学校等以外に対して支払う教育資金は、前述の1500万円の範囲内で最大500万円までが非課税となります。手続きはまず信託銀行などの金融機関で専用口座を開設する必要があります。なお、(1) 受贈者が30歳になったとき (2) 受贈者が死亡したとき (3) 口座残高が0になって受贈者と金融機関との間に契約終了の合意がなされたときは、教育資金口座に関する契約は終了します。(1)と(3)の事由で契約が終了し残額がある場合や、教育資金以外の支出がある場合などは贈与税の課税価格に算入され、その年の課税価格が贈与税の基礎控除を超えているときは申告が必要になります。



今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型	B型	O型	AB型
非日常的な空間が幸運を呼び、仕事でも勇気が湧いてステップアップできそう。自分の殻を破りたい人にも吉!	人間関係に不安を感じたら自分から積極的に歩み寄りましょう。黙ってやり過ぎると変な誤解を招くだけです。	とても運勢は良いのに些細なことで落ち込んだりしそうな気配。感情のコントロールを意識して取り組むと吉!	口は禍の元と心得て余計なことには首を突っ込まないように! マイペースで仕事をすれば無難に行くでしょう。

社員のひとこと日記

先日、富士山がユネスコの世界遺産委員会で世界文化遺産に登録されることが決定されました。45KM離れている為、除外するよう言われていた三保松原も含めて。

世界自然遺産ではなく世界文化遺産なのはなぜ？と思わなくもないですが、その説明は長くなるので止めておきます。

1992年から富士山は世界遺産登録の歩みを始めたとのこと。足掛け21年。関係者、地元で協力してきた方々、喜びはひとしおだったことでしょう。登録決定の裏には、日本人には苦手そうなロビー活動が功を奏したとも言われています。総力を挙げての登録決定、本当によかったですね。ちなみに富士山で日本の世界遺産登録は17件目です。

知床、白川郷、巖島神社、古都京都、古都奈良、石見銀山、平泉、法隆寺、原爆ドーム、屋久島、琉球王国、小笠原諸島、姫路城、白神山地、日光、紀伊山地。

まだ行ったことの無い所、一度訪れてみたいですね。

荒川

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【ただ闇雲に数字を追うと飽きてくる】

メタボなお腹を気にしているある男性が、毎日30分のウォーキングを始めました。

3週間ほど続けたところで周囲から「痩せたね」と言われるようになり、あと5キロ体重を落とそうと気合いを入れ直した途端、なかなか体重が減らない停滞期がやってきました。彼は体重計に乗るたびに「また今日も減ってない」とガッカリして、結局1ヶ月半ほどでウォーキングをやめてしまったそうです。「体重が減らないからウォーキングがつまらなくなった」その気持ちはよくわかります。ただ数字だけを追っていると、いずれは飽きてしまうでしょう。目標を立てるときは、具体的な数字を示した「数値目標」が望ましいと言われます。目標値が明確であれば評価が可能になり、達成感を得やすいからです。しかし、数値目標が目先の数字を追いかけるだけのゲームになってしまったら、数字をクリアしたときは満足できても結果が出ないときには粘り抜けません。



思うように進まなくても飽きずに努力を続けていくには、数値目標の先に「何か」が必要です。「何か」とは、いわゆるイメージです。先ほどの男性ならメタボが解消されて体調が良くなり、さらには痩せてスーツが似

合うようになった自分を「最近〇〇さん素敵になったわね」と女子社員がうわさして、おおいに自尊心をくすぐられる。そこまでのイメージをしっかり描いていたら目先の数字ではなく、そのイメージを追い続けてもう少し頑張れたかもしれません。例えば社員が個人の数値目標を立てるとき、その数字が会社から一方的に与えられた売上目標のようなものであれば、ウォーキングの男性と同じことが起こるでしょう。



売上目標はもちろん大事ですが、数字の根拠となるイメージはもっと重要です。売上目標という数字の先にあるビジョンを社員がイメージできる工夫をしているかどうか——。せつかく目標を立てるのなら闇雲に数字を追うのではなく、経営者も社員もワクワクするような楽しいビジョンを共有しようではありませんか。